

プロトコール番号

胃癌 5週毎 S-1+シスプラチン(CS)療法					催吐リスク 高度
投与プロトコール:1クール35日間		投与量	投与日	投与時間	備考
輸液	シスプラチン投与前後に2000mL程度の輸液を投与する。	-	Day8		S-1の投与量 (体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	シスプラチン 生食 500mL (シスプラチン容量分を抜く)	60mg/m ²	Day8	2時間	
内服	S-1		Day1夕~22朝	朝夕	

プロトコル番号

胃癌 3週毎 S-1+トラスツズマブ療法					催吐リスク 最小度
投与プロトコル:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		S-1の投与量 (体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	トラスツズマブ 生食250mL	初回8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコル番号

胃癌 4週毎 パクリタキセル (PTX)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール28日間					軽度
ルート	輸液	投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	パクリタキセル	80mg/m ²	Day1、8、15	1時間	
	5%ブドウ糖液 250mL				

プロトコール番号

胃癌 3週毎 S-1+ドセタキセル(DS)療法					催吐リスク
投与プロトコール:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ドセタキセル	40mg/m ²	Day1	1時間	
	5%ブドウ糖液 250mL				
内服	S-1	40mg/m ²	Day1夕~15朝	朝夕	

プロトコル番号

胃癌 2週毎 イリノテカン(CPT-11)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコル:1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	イリノテカン	150mg/m ²	Day1	1.5時間	
	5%ブドウ糖液 500mL				

プロトコール番号

胃癌 3週毎 カペシタビン+シスプラチン+トラスツズマブ (XP+HER)療法					催吐リスク 高度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
輸液	シスプラチン投与前後に2000mL程度の輸液を投与する。	-	Day1		カペシタビンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡~1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡~1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	トラスツズマブ 生食250mL	初回8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
②	シスプラチン 生食 500mL (シスプラチン容量分を抜く)	80mg/m ²	Day1	2時間	
内服	カペシタビン		Day1夕~15朝	朝夕	
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコル番号

胃癌 3週毎 カペシタビン+トラスツズマブ (Cape+HER)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール21日間					最小度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		カペシタビンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡~1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡~1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	トラスツズマブ	初回8mg/kg 2回目6mg/kg	Day1	1.5時間 下記参照	
	生食250mL				
内服	カペシタビン		Day1夕~15朝	朝夕	
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコル番号

胃癌 3週毎 アブラキサン®(nab-PTX)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール21日間					軽度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	アブラキサン	260mg/m ²	Day1	30分	
	1バイアルあたり生食20mLで溶解し、空の点滴バックに注入				

プロトコル番号

胃癌 3週毎 S-1+オキサリプラチン(SOX)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコル:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		S-1の投与量 (体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	100または 130mg/m ²	Day1	2時間	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	

プロトコール番号

胃癌 3週毎 S-1+オキサリプラチン+トラスツズマブ(SOX+HER)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール:1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		S-1の投与量 (体表面積あたり) 1.25㎡未満 80mg/日 1.25~1.5㎡ 100mg/日 1.5㎡以上 120mg/日
①	トラスツズマブ 生食250mL	初回8mg/kg 2回目6mg/kg		1.5時間 下記参照	
②	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	100または 130mg/m ²	Day1	2時間	
内服	S-1		Day1夕~15朝	朝夕	
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

胃癌 3週毎 カペシタビン+オキサリプラチン(XELOX)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール: 1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		カペシタビンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡~1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡~1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	130mg/m ²	Day1	2時間	
内服	カペシタビン		Day1 夕~15朝	朝夕	

プロトコール番号

胃癌 3週毎 カペシタビン+オキサリプラチン+トラスツズマブ (XELOX+HER)療法					催吐リスク 中等度
投与プロトコール: 1クール21日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1		カペシタビンの投与量 (体表面積あたり) 1.36㎡未満 2400mg/日 1.36㎡~1.66㎡ 3000mg/日 1.66㎡~1.96㎡ 3600mg/日 1.96㎡以上 4200mg/日
①	トラスツズマブ 生食250mL	初回8mg/kg 2回目6mg/kg		1.5時間 下記参照	
②	オキサリプラチン 5%ブドウ糖液 500mL	130mg/m ²	Day1	2時間	
内服	カペシタビン		Day1夕~15朝	朝夕	
◆トラスツズマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコル番号

胃癌 2週毎 ラムシルマブ(RAM)療法					催吐リスク 最小度
投与プロトコル: 1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ラムシルマブ	8mg/kg	Day1	1時間 下記参照	
	生食250mL(ラムシルマブ容量分を抜く)				

◆ラムシルマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。

プロトコル番号

胃癌 4週毎 ラムシルマブ+パクリタキセル(RAM+PTX)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコル: 1クール28日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ラムシルマブ	8mg/kg	Day1、15	1時間	
	生食250mL(ラムシルマブ容量分を抜く)				
②	パクリタキセル	80mg/m ²	Day1、8、15	1時間	
	5%ブドウ糖液 250mL				
◆ラムシルマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコール番号

胃癌 4週毎 ラムシルマブ+アブラキサン(RAM+nab-PTX)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール28日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ラムシルマブ	8mg/kg	Day1、15	1時間	
	生食250mL(ラムシルマブ容量分を抜く)				
②	アブラキサン	100mg/m2	Day1、8、15	30分	
	1バイアルあたり生食20mLで溶解し、空の点滴バックに注入				
◆ラムシルマブは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮可能。					

プロトコル番号

胃癌 2週毎 ニボルマブ (NIVO)療法					催吐リスク
投与プロトコル:1クール14日間					最小度
		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	ニボルマブ	240mg	Day1	30分	
	生食 100mL				

プロトコール番号

胃癌 1週毎 メトトレキセート+フルオロウラシル(MF)療法					催吐リスク 軽度
投与プロトコール:1クール7日間		投与量	投与日	投与時間	備考
ルートキープ輸液	生食 250mL	-	Day1		
①	メトトレキセート 生食50mL	100mg/m ²	Day1	15分	
②	フルオロウラシル 生食50mL	600mg/m ²	Day1	全開	
内服	ロイコボリン錠	10mg/m ² /回	下記参照		
◆メトトレキセート投与後24時間後から6時間毎 計6回。					

プロトコール番号

胃癌 2週毎 オキサリプラチン+フルオロウラシル+レボホリナート(mFOLFOX6)療法					催吐リスク 中等度	
投与プロトコール:1クール14日間		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートキープ輸液	5%ブドウ糖液 250mL	-	Day1			
①	オキサリプラチン	85mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
②	レボホリナート	200mg/m2	Day1	2時間		
	5%ブドウ糖液 250mL					
①・②は同時に投与						
③	フルオロウラシル	400mg/m2	Day1	全開		
	5%ブドウ糖液 100mL					
④	フルオロウラシル	2400mg/m2	Day1	46時間		
	ヘパリンNaロック10U/mLシリンジ10mL					
	生食					